

旭市立嚶鳴小学校学校再編地域検討会議 検討結果

旭市学校再編基本方針の（仮称）海上地域小学校について、旭市立嚶鳴小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を１校に統合することに「賛成」

統合校の位置について、嚶鳴小と旧海上中学校跡地のいずれも

「賛成」・「反対」の意見が分かれた

【検討の経緯と理由】

嚶鳴小学校は、明治 39 年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、地域に根付き親しまれている学校である。令和 6 年度の児童数は 376 名と適正規模を維持しているが、海上地域の鶴巻小学校や滝郷小学校では既に児童数が著しく減少しており、複式学級の発生が現実的になっている。

会議の中では、保護者アンケートの結果や海上地域全体の子どもたちの教育環境を考えると統合はやむを得ないという意見が多数であり、鶴巻小学校、滝郷小学校、嚶鳴小学校を１校に統合することに「賛成」となった。

統合校の位置：嚶鳴小学校

嚶鳴小学校を統合校として活用するのは、保護者アンケートの結果や初期費用を一番抑えられる、隣接する土地の拡張性が高いといった理由などから「賛成」とする意見がある一方で、嚶鳴小学校の児童数推移が不明確なため増改築がさらに必要になる可能性があることや、送迎の際の周辺道路の混雑が懸念されるという理由などから「反対」という意見もあり、意見が分かれる結果となった。

統合校の位置：旧海上中学校跡地

旧海上中学校跡地を統合校の位置とすることは、十分なスペースがあり、スクールバスを出してもらえれば「賛成」という意見がある一方で、県道は交通量が多く安全性に劣る、嚶鳴学区の多くの子ども達の徒歩通学が大変になるという理由などから「反対」という意見もあり、意見が分かれる結果となった。

委員提案

統合校の位置：海上中学校北側農地

旭市学校再編基本方針では候補地としていない場所だが、委員より統合校の位置として提案があった。会議の中では、地区の中央に位置し、使いやすい土地なので長い目で見ると一番理想的、中学校や公園が隣にあると駐車場が使えて、子育ての面からも魅力的という理由などがあり、委員から候補地として提案があった。

その他の意見

- ・校舎新築には時間がかかるため、鶴巻小学校と滝郷小学校の複式学級解消のためにも、先に鶴巻小学校と滝郷小学校の2校を統合し、段階的に3校で統合を進めてはどうか。

【会議の概要】

第1回 (R6.7.10)	(1) 旭市学校再編基本方針の概要について (2) 海上地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (3) 意見交換
第2回 (R6.8.5)	(1) 学校再編の目的について (2) 事例紹介（香取市立山田小学校・東庄町東庄小学校） (3) 統合校の候補地について (4) 意見交換
第3回 (R6.10.2)	(1) 3校の統合について (2) 意見交換
第4回 (R6.11.5)	(1) 統合校の位置について (2) 意見交換
第5回 (R6.12.23)	(1) 学校再編地域検討会議の検討結果について

令和6年12月23日

旭市教育委員会